

令和5年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：24016
学校名：平和通小学校

改訂のポイント		○学習課題（問題）や仲間（友達）へ主体的に関わり学ぶ子を育てる ○各学年に応じた家庭学習へのよびかけを行う		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆対話的な学び合いにより、自分の考えを深めようとする子ども （自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題に取り組み、仲間（友達）と協力しながら問題を解決できる力をもった子ども）		
「学ぶ力」に関する成果や課題	主体的に学習に取り組む態度	【昨年度の具体的な取組】 ○学習課題を自分ごととしてとらえ、自分なりに解決していこうとする意欲を高める。	【成果】 ⇒自分なりの考えをもつ場を設定したことにより、解決していこうとする意欲をもつことができた。	【課題】 ◇問題意識をもって、主体的に課題に取り組んでいくこと（課題の提示の仕方、発問の工夫）
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ○互いの考えをつなぎ合い、ともに解決していこうとする学習活動を展開する。	【成果】 ⇒友達の意見を聞き、自分の考えに生かすことができるようになってきた。	【課題】 ◇対話的な学び合いを通じながら自分の考えをよりよくしていくこと（板書など教師の関わりの工夫）
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○基礎基本の定着を図る指導を行う ○家庭での学習習慣の定着を図る取組を行う。	【成果】 ⇒全学級で漢字と計算のテストを年2回ずつ行ったり、宿題を配付したりすることにより、基礎基本や家庭での学習習慣の定着を図ることができた。	【課題】 ◇家庭学習により意欲的に取り組むこと ◇クロームブックの効果的な活用
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 対話的で深い学びの視点で授業改善に臨み、主体的に学ぶ子どもの姿を追求する		
	具体的な改善策（取組）	○子どもたちの追究意欲が持続するような課題や単元構成の工夫、対話的な学び合いを生む場づくりの工夫（多様な学習形態の工夫や発表の仕方の提示など。） ○問題提示や学び合う場面などで、視覚的に捉えやすくするためのICT活用（スクールタクト）や板書の工夫。 ○TTの有効な活用を図る（各学年、算数を中心とした少人数指導・個別指導等） ○学校全体で年間に2回行う漢字テスト（漢字大会）や計算テスト（計算大会）を日々の目標にし、基礎基本の定着を目指す。 ○朝の活動を活用した習熟（毎週、火曜日は計算練習、金曜日は漢字練習） ○「家庭学習のてびき」の改善と「まほうのかいわ」（さっぽろっ子「学び」のススメ）の推進。 ○パートナー校でお互いの授業を見合い、発達段階の違いを理解することで、9年間を見据えた「課題探究的な学習」の授業づくりに生かす。		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等） ○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用 ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用		